

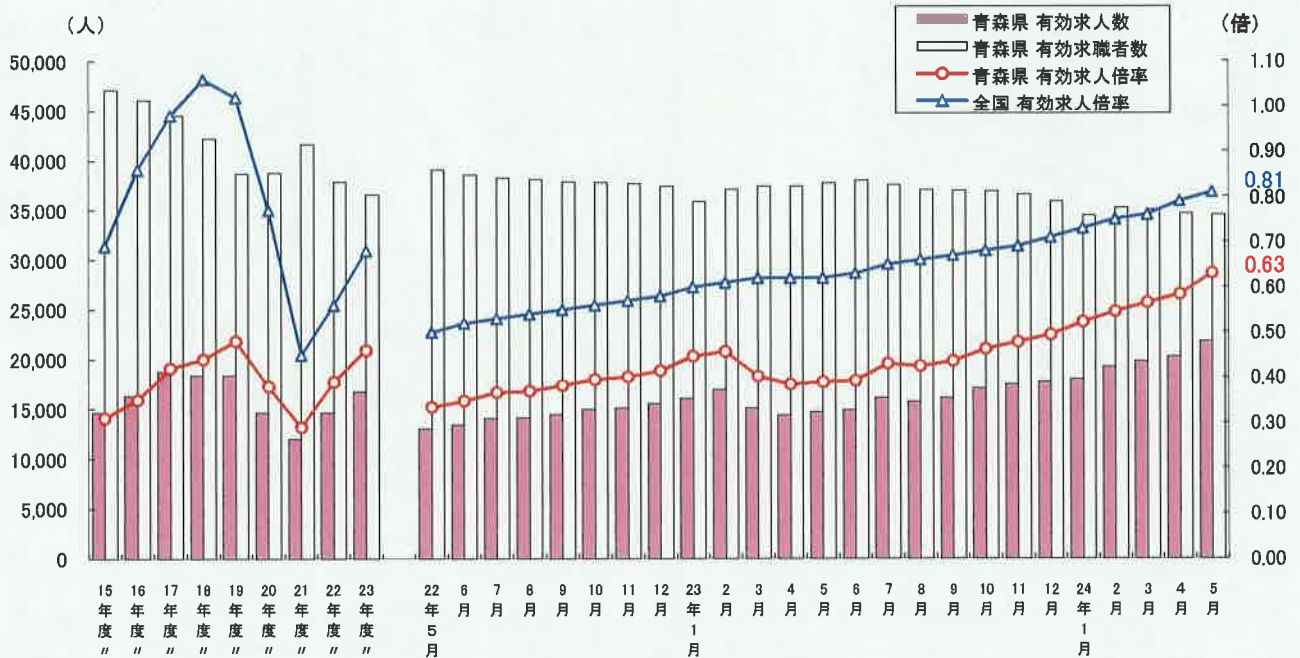
最近の雇用情勢について

(平成24年5月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

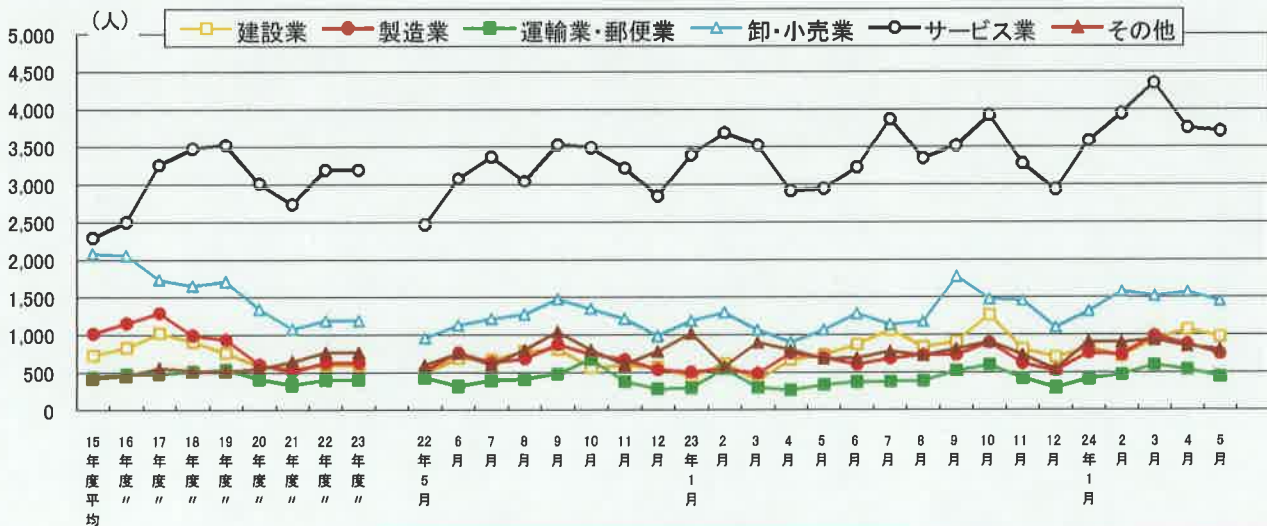
5月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ7.6%増加の21,750人、有効求職者数(同)は0.3%減少の34,533人で、有効求人倍率(同)は前月を0.05ポイント上回る0.63倍となった。



II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

5月の新規求人(原数値)は前年同月比26.2%(1,691人)増加、前月比6.0%(518人)減少の8,152人。

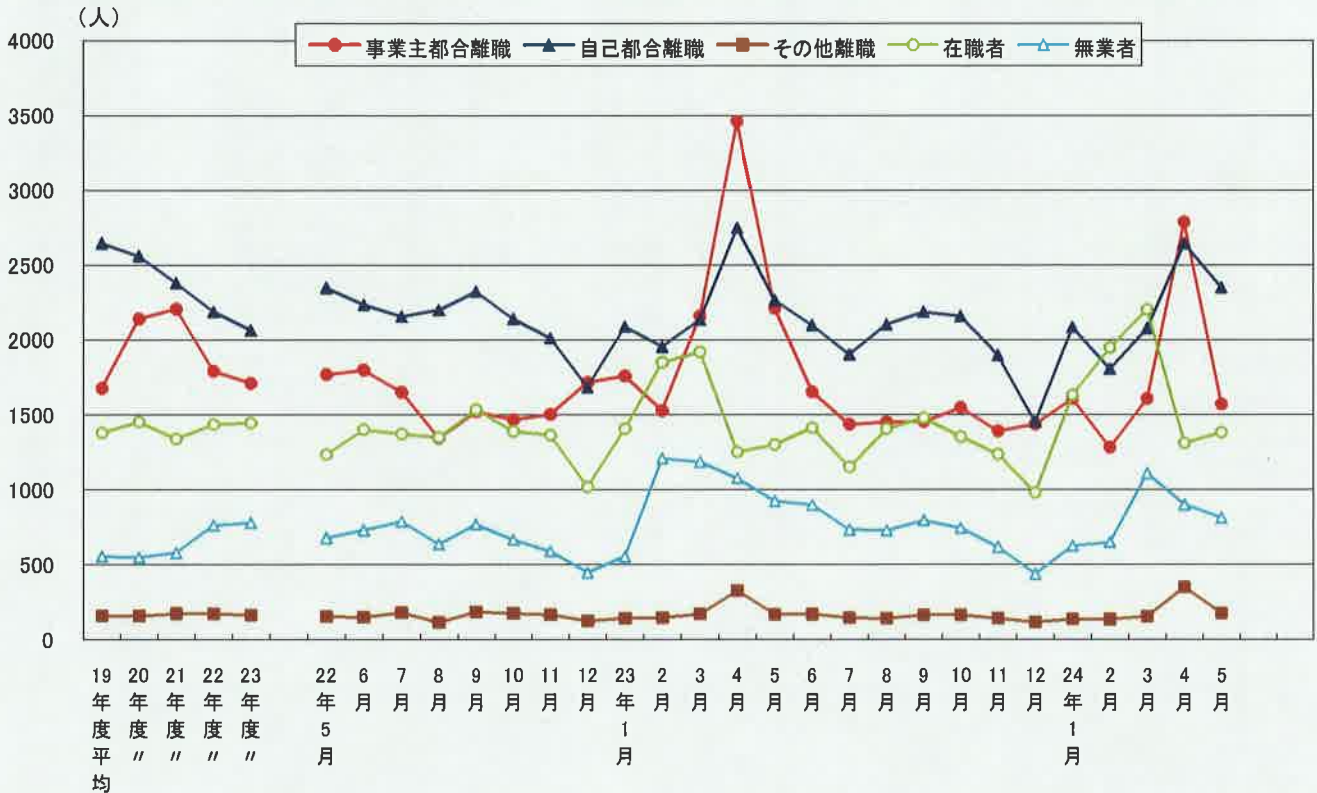
産業別に前年同月と比較すると、農・林・漁業、建設業、製造業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、不動産、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、医療・福祉、サービス業等で増加し、教育、学習支援業、複合サービス業、公務・その他では減少となった。製造業では、繊維工業、印刷・同関連業、金属製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で増加し、食料品、飲料等製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業等では減少となった。



平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

5月の新規求職者数は、前年同月比8.4% (578人)減少、前月比21.3% (1,703人)減少の6,294人。
 求職者の実態を前年同月と比較すると、在職者は6.2% (81人)増加したが、離職者は11.8% (548人)減少、無業者は12.0% (111人)減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は29.0% (641人)の減少、自己都合は3.7% (84人)の増加となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

5月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.51倍となり、前年同月を0.19ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

